

（5面から続く）

と査察指導員が速やかに受給者宅に向き、事実確認をし、実際に不正な事実が認められた場合は保護費の返還を求め



山本 愈 議員《政和会》

障がい者に対応した 成年後見制度の活用を

去る2月19日付けの新聞報道によると、横浜市の知的障がい者施設で暮らす入所者の預貯金を着服したとして、施設を運営するNPO法人の元理事が逮捕されました。

施設は、知的障がい者が住み慣れた地域で自立して暮らすことを目的に設立されています。障がいを持った子ども

の親にとって、親亡き後、地域の中でいかに暮らすことができるかが切実で最大の課題です。したがって、施設の建設促進は保護者にとって、大きな期待であり、希望ですが、今回の管理者の不祥事は建設促進に水をかけるような事件で大変残念であります。

この事件を契機に、適正な



稲垣 敏治 議員《公明党》

資源物の抜き取り行為に 罰則を！

本市においても、朝早くから各地域で雑誌やアルミ缶、スチール缶等がごみ集積所から持ち去られる行為が後を絶ちません。

この持ち去られた資源物は、本来市の収入源であり、市民サービス等に使われるべき貴重な財源です。その財源を盗んで行く行為は泥棒であり、窃盗に当たる犯罪行為です。また、それぞれの地域できれいに管理している集積所も

荒らされ、散らかされ、何よりも分別にご協力いただいている市民の気持ちに大きく水を差す許されない行為です。

資源物の抜き取り防止策として、すでに条例には、ごみ集積所に出された資源ごみの所有権が市に帰属し持ち去ってはならないと規定していますが、罰則規定も整備し、持ち去った者を刑法上の窃盗罪として告発することを明確にすべきと断言します。今後の

るなど、制度に沿って厳正に対応していますが、訪問調査活動による生活の実態把握にも限界がありますので大変苦慮しているところです。

法的根拠を持った取り組みについてお尋ねします。

市長

現在、県内19市で条例化されているのは本市を含め13市あり、その中で9市が罰則規定を付加しています。

分協議の上、罰則規定を付加するよう前向きに検討し対応していきたいと思えます。また、日々の姿勢が大事です。また、引き続きパトロールによる牽制を強化するよう指示してまいります。



守谷 浩一 議員《日本共産党》

リニア新幹線が座間の地下水に及ぼす問題を追及

リニア中央新幹線と地下水への影響について伺います。

市のホームページには座間の地下水の流れと湧水の仕組みが説明され、相模原台地を流れる地下水の流れが矢印で示されています。リニア中央新幹線のルートはまさにこの流れの中を横切ります。JR東海が作成した計画段階環境配慮書と環境影響評価方法書があります。座間の地下水のことは対象になっていません。

本市として意見を述べたのでしょうか。計画段階環境配慮書ではリニア中央新幹線の駅やトンネルを地下20〜30メートルに構築するとあり、その際に使用する地盤改良剤により、強い毒性を持つ六価クロムの発生とその場合の取水への影響が考えられています。そして、地下の帯水層に駅やトンネルを構築すると水脈が



分断されます。環境影響評価方法書では通水管を設けるとのことですが、水脈遮断の回避にどの程度効果があるか、目詰まりが起きたらどうするのか、また、公募意見で被害の因果関係を誰が証明するのかとの指摘も出されており、当局はどう認識し考えているのか伺います。

環境経済部長 影響評価の対象に本市は該当せず意見は述べていませんが、今後、検討します。工事方法が公表されていないため地下水への影響の想定は難しいと考えます。



安海 のぞみ 議員《神奈川ネット》

21世紀型の平和秩序に向け 日米安保の見直しを

日本はアジアの一員として、日米安全保障から一歩踏み出し、対立と和解の分かれ道に立つ北東アジアの平和の実現に向けた外交政策を行い、過去との向き合い方を示すことが必要です。何より、まず第

一に、東アジアに平和を築き、それを通じて世界の平和構築を止揚すること。そのために日米安全保障の見直しがあつてしかるべきと考えますが、ご意見を伺います。

市長 議員は、現在の憲法

9条の崇高なる理念、前文における国際協調をしっかりと保つ中で安全保障というお考えをお示しいただいたと認識するのですが、私自身、現憲法のもとにいつも申し上げますように、盾と矛の関係からして、守りについては自衛隊が、いざという時の矛の部分で現状においてはなし得ないということから日米同盟があるうとうとうに整理しています。これまで戦後両国

の国益の一致するところが大きかったがゆえにこの関係で来たのだと思えますし、今後どうなるかについてもそこをしっかりと踏まえて考えてゆべき課題と思えます。



沖永 明久 議員《市民連合》

再生可能エネルギーの推進と まちづくり

本市には、小水力発電、温床差発電、リチウム電池などの有力企業が存在しています。こうした地元企業、市民、行政が力を合わせて、再生可能エネルギーの推進、エネルギーの地産地消をめざすまちづくりを提案したいと思えます。

市長 間違いなく再生可能エネルギーの推進というのは必要なことだと思います。議員から失敗の共通点が、行政主体、補助金依存にあつたところから、地域資源を活かしたまちづくりが可能で、必要要件でもあると思えます。

エネルギーに関するこれまでの失敗事例の共通点は、一言で言うならば「行政主体」、「補助金依存」という点。市民、地元企業、地元金融機関

の活用を積極的に促進することを求める陳情
陳情第74号 食品や土壌の検査を市が責任を持つて行うために、計測器を購入し継続して放射線を測定することを求める陳情
陳情第75号 認可保育園において給食に出されている牛乳を放射性セシウム残量が未検出のメーカーにかえ、さらに保護者が希望すれば、牛乳のかわりに水やお茶を持参することを拒まないことを求める陳情
陳情第76号 小学校において給食に出されている牛乳を放射性セシウム残量が未検出のメーカーにかえ、さらに保護者が希望すれば、牛乳のかわりに水やお茶を持参することを拒まないことを求める陳情

陳情の結果

3月定例会の各常任委員会及び議会運営委員会で審査した陳情は、次のとおり決まりました。

採 択

- 陳情第52号 T P P 交渉参加反対に関する陳情
- 陳情第73号 市民から残量放射能に対する報告があつた場合、市は誠実に対応する（指摘された場所を速やかに計測するなど）ことを求める陳情
- ◎ 不 採 択
- 陳情第67号 地球社会建設決議に関する陳情
- ◎ 継続 審査
- 陳情第40号 児童デイサービス施設における看護師設置費用と事業所借り上げ費用の一部補助を求める陳情
- 陳情第51号 中学校教科書採択についての陳情
- 陳情第56号 望ましい歴史教科書の採択を求める陳情
- 陳情第59号 座間市議会議員の定数削減を求める陳情
- 陳情第63号 平成24年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情
- 陳情第64号 平成24年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情
- 陳情第65号 座間市議会議員定数削減の陳情
- 陳情第68号 民意を狭めチェック機能を弱める議員定数削減に走ることを市と市民の共同でより一層の議会改革への努力を求める陳情
- 陳情第69号 市立保育園における給食の放射性物質濃度検査の実施についての陳情
- 陳情第70号 市立小学校における給食の放射性物質濃度検査の実施についての陳情
- 陳情第71号 子育て支援交付金を活用し、認定保育園への助成の増額を実施することを求める陳情
- 陳情第72号 待機児童対策として認定保育園の活用を積極的に促進することを求める陳情
- 陳情第74号 食品や土壌の検査を市が責任を持つて行うために、計測器を購入し継続して放射線を測定することを求める陳情
- 陳情第75号 認可保育園において給食に出されている牛乳を放射性セシウム残量が未検出のメーカーにかえ、さらに保護者が希望すれば、牛乳のかわりに水やお茶を持参することを拒まないことを求める陳情
- 陳情第76号 小学校において給食に出されている牛乳を放射性セシウム残量が未検出のメーカーにかえ、さらに保護者が希望すれば、牛乳のかわりに水やお茶を持参することを拒まないことを求める陳情

請願・陳情の提出について

第2回（6月）定例会で 審査をする請願・陳情は、 5月22日（火）までに議会事務局へご提出ください。